

＜令和6年度 第6回 前林地域会議 会議録＞

日 時 令和6年9月20日（金） 19:00～20:15
場 所 前林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 19名
事 務 局 中野副支所長、松原副主幹、天野担当長
オブザーバー 日當市議、佐野前林交流館長

1 会長あいさつ（省略）

2 報告事項

（1）令和6年度前林地域ふれあいまつりの出展について

- ・令和6年度前林地域ふれあいまつりの出展について事務局より説明。

（2）ふれあいバス通信（第1号）の発行について

- ・ふれあいバス通信（第1号）の発行について事務局より説明。

＜委員＞ 今回のふれあいバスの高齢者等専用回数券に使用期限はあるのか。

＜事務局＞ 使用期限はない。

＜委員＞ 対象者ではない方が回数券を利用しようとした場合はどうなるのか。

＜事務局＞ 対象者ではない方は利用できない。明らかに利用者が高齢者の方でないとバス乗務員が判断した場合は確認するかもしれない。

＜委員＞ 子どもや若い方が高齢者回数券に100円を追加した場合は利用することは可能か。

＜事務局＞ 利用できない。

＜委員＞ この回覧チラシの注意事項に対象者を入れた方が良いのではないか。

＜事務局＞ 前回試行的に行った時は対象者以外の方が利用されたことはなかった。回覧文書はすでに回覧しているため、訂正ができないが、バス車内の張り紙などで案内できるかは検討する。

（3）令和6年度「高岡4地域合同防災力向上事業」について

- ・令和6年度「高岡4地域合同防災力向上事業」について事務局より説明。

（4）防災士養成研修会について

- ・防災士養成研修会について事務局より説明（合わせて市自主防災事業補助金により15,000円補助がある旨補足説明）

＜委員＞ この研修会に年齢制限はないか。

＜事務局＞ 年齢制限はない。

（5）市内自治区と地域企業との地域防災協定について（事例紹介）

- ・市内自治区と地域企業との地域防災協定について事務局より説明。
- ・駒場自治区の事例について前林地域会議会長より説明。

＜委員＞今後の課題として、「協定内容が区民にあまり周知できていないため、防災訓練時や回覧板等で区民に知らせたい」とのことだが、内容は、紹介のあった企業名や協賛してもらえることを周知されるのか。

＜会長＞「企業名」と「協力してもらえる内容」の周知を考えている。

＜委員＞多くの企業の協力を得ており、避難所やトイレの場所は借りられると思う。自治区内で協力企業に対する担当者は決められているのか。

＜会長＞現在は区長になっており、災害が起きた際は混乱するかもしれない。今後の課題である。

＜委員＞今回、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発令され、その際、市や自治区は対応されたのか。企業の場合だと役員が招集され対応している。

＜事務局＞豊田市では、本庁舎に災害対策本部が設置されて「準備体制」をしいた。南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）であったため、市民の方には、SNSやホームページで、地震の発生に備えて避難等の準備を呼びかけるとともに、職員には、災害が発生した場合は本部体制をしき、災害時に備えるよう指示があった。

3 令和6年度・令和7年度地域課題解決事業について

・4 地域合同事業

4 地域合同事業について事務局より説明。

＜委員＞自治区で青色回転灯を使用した地区防犯パトロールを行っている自治区はあるか。

＜事務局＞前林・中田・駒場自治区がある。活動頻度は、前林自治区は、毎週火・水・木・金曜日、中田自治区は、毎週土曜日、駒場自治区は月1回行っている。西岡町自治区は、以前は歩いてパトロール活動を行っていた。

・商業機能を起点とした地域の活性化促進事業

4 地域合同事業について事務局より説明。

・安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」

安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」について事務局より説明。

＜委員＞安全・安心なまちづくり「交通安全対策」において、前提として、市道・県道で草木が生い茂って危険である場所を綺麗（刈ったあとの土も含む）にしていこうということがないと安全・安心なまちづくりにならないと思う。市に要望すれば対応してもらえるが、安全・安心なまちづくりを進めていくのであれば、申請しなくとも普段から通学路の歩道等の安全管理をしっかりすることで危険箇所がなくなり、安全・安心なまちづくりになると考える。

危険箇所マップを作ることが安全・安心なまちづくりになるわけではなく、危険な箇所がなくなるにはどのようにしていけばよいか検討し各年度取り組んでいくことが必

要である。

また、公園（ふれあい広場）の木の伐採について、市への要望によって、高木は切ってもらえるが、低木は自治区に依頼される。自治区だけでは対応できないので、それらに対応できると、公園の中を見ることができるようになるので、安全・安心なまちづくりにつながっていくと思う。

<事務局> 今回の取組は進めていきますが、公園などご指摘のあった件は、引き続き自治区から工事申請により、支所を通じて所管課にアプローチをしていく。また、皆様と協力して取り組んでいけることがあればよいと考えている。

<委員>

工事申請に関連するが、交通安全危険箇所マップを関係部署に共有ができないか。

<事務局>

所管課に相談する。

<委員> 交通安全立哨活動の際に使用するハンドサインを依頼する手続方法を教えてほしい。

<事務局> 現在、主に「とまってくれてありがとう運動」のハンドサインを作成している。支所に在庫があるため、個別に必要な部数を言ってもらえれば配布可能である。

<委員>

- ・災害に強いまちづくり事業

災害に強いまちづくり事業について事務局より説明。

4 その他

(1) 次回開催について

- ・令和6年10月18日（金）午後7時から前林交流館